

# 報告第2号 平成31年度事業計画及び収支予算について

## 平成31年度事業計画

### 1 基本方針

国は「生涯現役社会の実現に向けた就労のあり方に関する検討会」において、人生100年時代を見据え、意欲と能力を持つ高齢者を社会資源とみなして活用することで、個々の地域の課題を解決し、地域社会の「支え手」となるとともに、高齢者が生きがいをもって社会に参画するとの報告書を取りまとめ、特に、地域での高齢者への支援を行っている関係機関の提言は、シルバー人材センターには、高齢者の多様なニーズに対応した就業機会の提供が求められており、運営体制の改善や運営者の意識改革を図り、地方公共団体等とも協働しながら、ニーズのマッチングが必要とされております。

また、平成29年3月に働き方改革実現会議が決定した「働き方改革実行計画」においても、「健康づくりやフレイル対策を進めつつ、シルバー人材センターやボランティアなど、高齢者のニーズに応じた多様な就業機会を提供する」とされており、シルバー人材センター事業の果たす役割の重要性と地域社会の期待は益々大きなものとなっています。

一方、敦賀市の状況は敦賀商工会議所の「第47回敦賀市内景気動向観測等調査」結果によると、総合景況感(BSI)は調査5回連続での上昇となっており、本調査の開始以来(平成6年12月～)、最も良い数値になっています。また、平成30年度第4回全国財務局長会議で最近の北陸財務局管内の雇用情勢は、着実に改善していて、人手不足感が強まっているとの報告があり、人手不足が深刻となっている。

当シルバー人材センターにおいては、第4次中期経営戦略の熟成期(4年目)として、計画の実現に向けて大事な年度であります。3年間の事業の検証を行うとともに、人手不足の地元企業に向けた派遣事業の充実、高齢者の生きがいの充実、ボランティアの積極的な参加、直営店「ろくべえ」の充実等、地域に根差したシルバー人材センターとして事業を推進するため、平成31年度においても、「自主・自立・共働・共助」という理念のもと、次の事項について積極的に事業を展開していきます。

- ① 就業開拓員による派遣事業を充実し、「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」の推進。シルバー人材センターの活用を必要とする、ホワイトカラー向け企業を更に開拓し、就業延人数増を目指す。

- ② たんぽぽ事業や介護予防・日常生活支援総合事業へ引き続き参画し、福祉事業を推進する
- ③ 地域に根差したシルバー人材センターとして、独自事業の惣菜店「ろくべえ」の収支相償を踏まえた健全な運営を行い、事業の安定化を図る。
- ④ 会員同士の交流・親睦や趣味を通じての「仲間づくり」を図るために、地域班や職群班等を活用した交流事業を推進する
- ⑤ 剪定・草刈・障子、ふすま張替え事業について後継者育成等事業を推進する。
- ⑥ 女性会員及び市民（女性）が楽しめるイベント等を計画し、女性会員の拡大を図る。
- ⑦ 現在の事務所は、「敦賀市の公共施設等管理計画」で維持修繕費の拡大や耐震等により、市との「市有財産貸付契約」が満了となる平成32年3月31日までに移転先を詮索することが求められている。早急に市との協議を進め決定する。

## 2 重点施策

### (1) 積極的な事業展開

平成28年度からの「6プロジェクト」の継続と新たに「事務所移転対策チーム」を立上げ、役職員一丸となって取り組みます。

事業実績については、平成31年2月末で前年度同期より入会者は僅かながら減少し、依然として深刻な会員不足の状態となっている。請負・委任契約についても増加が見えず、事務費収入も減少している。

平成31年度は、入会促進対策として、センター営業時間外でも瞬時に行動を起こせるWeb入会システムの環境が整ったことから、広く広報するとともに、現在月1回の入会時研修のあり方について検討する。更には、将来の安定した運営を達成するためには、女性会員の入会促進は最も大事な要素でありその拡大は最重要課題である。女性理事・女性職員と女性会員による女性部会(委員会)を新設し、女性会員及び市民(女性)の参加も歓迎するサロン活動を企画し、女性のネットワークを活用した啓発活動を展開して女性会員増を目指します。

また、従来からの十八番事業である、「剪定」「機械草刈」の需要はあるが、対応できる会員不足が謙虚になっている。昨年引き続き市民を巻き込んだ実務講習会を開催して、技能をマスターした人に入会を呼びかけ後継者育成を図る。

また、積極的な新規事業への参入や「職群班」と「地域班」が連携し断り事例の省力化に取り組みます。

今後も第4次中期経営戦略基本計画の達成を図るべく、プロジェクト・委員会・チームによる積極的な取り組みを継続し、会員の就業機会確保・契約増を目指します。

## (2) 社会情勢への迅速な対応

第4次中期経営戦略基本計画が3年経過し、平成31年度は熟成期として、事業の方向性、必要性を検証し、計画実現を確実なものとしします。

これから、シルバーの門を叩く若い入会者は、ホームページを参照する可能性が高いとされています。このことから、ホームページ経由で気軽に入会し易くなったことから、インターネット利用率の向上を図ります。さらに会員各位にはセンターからの様々な情報を確認できるサービス「Smile to Smile」事業の拡充に努めます。

また、女性会員の活動の機会を増やすため、女性理事・女性職員と女性会員による女性部会（委員会）を立ち上げるとともに、全ての事業において、社会情勢等を見据えた対応を検討し安定的な運営を目指します。

## 3 実施計画

### (1) 安全就業の推進

- ① 安全講習会において会員の興味ある内容を付加した講習を行い、会員の積極的な参加を促すとともに市民の参加も促す。

平成30年度	草刈り作業実技講習	市民	5名参加
	剪定作業実技講習	〃	21名参加
	障子・襖張替え講習	〃	7名参加
	事故事例研修会・交通安全講習会		
	接遇研修会の充実（専門家による）		

- ② 事故ゼロを目指す。特にベテラン会員の気の緩みが起因している事例が見受けられることから、常に安全就業基準の順守徹底や、違反者に対して原因の追究、事故防止の認識の醸成を図る。
- ③ 転倒防止については、チェック表により就業（作業）に係るよう周知する。
- ④ 労働者派遣事業や受託事業のコンプライアンスの徹底に努め、適正就業ガイドラインに基づく適正就業機会の徹底、周知、研修を行う。  
(契約内容の再確認)

### (2) 会員の増員

- ① 継派遣事業に係る会員の事前登録制を採用する等、会員登録等のシステムを導入する。
- ② 待機当番制を充実し、地域班と地区民との繋がりにより、地域のニーズに応え、社会貢献の拡大を推進する。
- ③ センターや各班の実施する能力の向上講習会や研修会に市民の参加を積極的に促す。

調理補助講習・ハウスクリーニング講習・介護看護補助講習・機械草刈り、剪定、障子・ふすま張替え講習会を一般市民向け引き続き実施し、入会促進・後継者育成に繋げる。

- ④ 不足分野における会員拡大の社会進出促進への迅速な対応を図る。
  - ・**継**惣菜店への会員の入会促進（調理員）
  - ・**拡**現役世代（育児等）への支援（たんぽぽ事業の拡充）  
託児所利用児童祖父母を入会勧誘するための託児所見学会
- ⑤ 市の広報誌やホームページ等の広報媒体による広報を実施すると共に、昨年度実施した量販店等において入会促進チラシの配布を継続的に実施し、センターの更なるイメージアップを図る。
  - 継**フェイスブックなどSNSを活用し、市民のシルバーへの興味を喚起します。
  - 拡**Web入会システムでの入会促進
- ⑥ **継**会員の仲間の誘い合い「受けてから担い手」への意識転換として「1会員1人入会運動」を図る。
- ⑦ **継**会員同士の交流・親睦や趣味を通じての「仲間づくり」を図るために、地域班や職群班等を活用した交流事業を推進する
- ⑧ **継**認知症予防講演会の実施。
- ⑨ **新**女性活躍を推進するため、女性会員限定の女性部会（委員会）の設置
- ⑩ **新**効果的な入会説明会・入会時研修のプログラムの内容を見直し、入会しやすい環境を整える。

### (3) 財源の確保

- ① **継**関係機関との連携を強化する。  
高齢者が空いた時間や得意な能力を活かし就業参加できる「就業モデル」を、行政・民間の施策等を通じて、或いは、区長連合会といった行政委員会等と情報交換を実施しながら確立し受注拡大を図る。
- ② **継**派遣事業要件緩和（週30時間まで就業）への対応  
平成30年度1事業所と契約
- ③ 新事業への挑戦（各プロジェクトの更なる活動）
  - ・**拡**惣菜店「ろくべえ」の充実
  - ・**検討**介護予防・日常生活支援総合事業への参入  
平成29年7月から「基準緩和サービスA型」の事業所として参画
  - ・**拡**空き家管理等サービス事業（空き家（空き地）、墓地等管理サービス）の対象者への啓発
  - ・**新**独自事業（ほっとい亭・わんすもあ・ろくべえ・たんぽぽ・刃物

研ぎ・孫の手塾)の啓発として、事務所前にてテント市を開催し、シルバー人材センターの活動をアピールする。

- ・**検討**「放課後児童健全育成事業」による放課後児童クラブにおける、放課後児童補助員就業の検討

④ 就業開拓戦略会議を継続する。

行政や関係機関及び民間企業の新規募集に対して意見交換等を通じて積極的に把握する。また、発注者に対しきめ細かなフォローを実施し、派遣事業等の更なる拡大を図る。

⑤ 地域班・職群班調整会議を継続する。

地域班・職群班等の範疇を越えた横断的な取組みを推進し、お断り事例の省力化に対応できる体制を整える。

⑥ 地域班主導による対応を推進する。

- ・地域班と地区民の繋がり確立。
- ・**継**ワゴンコインサービスの促進による待機当番制の充実。
- ・**検討**独居高齢者支援事業（買い物等）

⑦ **新**平成29年度に実施した大規模な顧客満足度調査でなく、新規の発注者に、就業後のアンケート調査を実施し、顧客満足度（作業の出来栄、料金、作業態度等）を簡単な質問に答えてもらい、就業サービス向上を図る。

- ・ミスマッチの減少、リピーターの確保。

⑧ 隣接シルバーとの連携を検討する。

- ・**継**近隣センター間で、近隣地区の受注可能な仕事に関する情報の把握と紹介方法の確立など連携策を検討する。

美浜シルバー人材センターとの業務検討会等の実施

- ・嶺南地区理事長会議の開催

(4) 運営基盤の整備

① 理事・監事の機能を強化する。

- ・会議が形骸化しないよう会議の効果及び活性化の観点から、直近に発生している事象や問題点等をテーマにする等、議事進行において全員参加型の議論を展開する。

- ・理事会の活性化と、多様な意見を幅広く収集する観点から、学識経験者や専門的知識を有するシルバー事業に熱意を持った人材を理事・顧問の登用を検討する。

- ・**継**他県シルバーとの意見交換会の実施

平成30年度は長浜市シルバー人材センター役職員との意見交換を実施

- ・**拡**タブレットによる理事会・地域班代表者会議等各種委員会の会議、

さらに、職群班との会議等に活用する。

- ② 事務局の活性化を図ります。
- ・役員及び管理職は、組織目標を踏まえた管理計画を策定し、職員連絡会議などの機会を通じ、目標の達成とマネジメント体質の強化を図る等、組織をコーディネートする能力を高めます。
  - ・職員の組織運営への関わりを深めることで経営参画意識を醸成する。
  - ・研修機関と交流研修や事例研究を行い、職員の知識や経験、分析力、洞察力、創造力を高めます。

平成30年度は、一般廃棄物実務管理者講習・北信越ブロック県連合活動拠点研修・職業紹介責任者講習に参加

- ③ 継事務所移転先の詮索と決定  
市の既存施設へ移転（指定管理の取得）等

#### (5) 情報の共有化と事務改善

- ① 情報共有化と迅速な情報伝達（ICT）に取り組めます。
- ・情報収集、センター情報の的確な伝達
- ② 会員のインターネット活用サービスの普及に努める。
- 継配分金明細やセンターのお知らせ等をインターネット活用サービス「Smile to Smile」の利用を促し、会員の利便性向上に努めます。
- ③ 受注の対応にリーダー会員によるタブレットの活用を引き続き研究する。
- ④ 継新会員のインターネットによる入会申込みシステム「らくらくWeb入会チャンネル」を広報し、入会の利便性を図ります。
- ⑤ 事務の一層の効率化を実現するため、最適な技術や運用方法、信頼性の高いセキュリティ対策を構築し、会員等が安心して信頼できる運営に努める。

#### 4 目標数値（第4次中期計画中平成31年度の目標値）

会員数： 444人

契約額： 229,000,000円（派遣契約含む）

派遣就業延人員： 4,000人/日

※2019年5月1日以降で平成で表示されているものについては、令和に読み替えるものとする。